

## 要 旨

### 試験委託者

環境庁

### 表 題

3,5-ジメチルアニリンのオオミジンコ (*Daphnia magna*)に対する繁殖阻害試験

### 試験番号

7 B 7 6 8 G

### 試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.202「ミジンコ類，急性遊泳阻害試験および繁殖試験」（1984年4月採択）の改訂版であるガイドライン No.211「オオミジンコ繁殖試験」（1997年4月提案）に準拠して実施した。

- 1)被験物質： 3,5-ジメチルアニリン
- 2)暴露方式： 半止水式（週に3回，試験液の全量を交換）
- 3)供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4)暴露期間： 21日間
- 5)試験濃度(設定値)： 対照区，0.010，0.030，0.100，0.300，1.00 mg/L（公比 3.2）
- 6)試験液量： 1 容器（連）に付き 80 mL
- 7)連数： 10容器（連）／濃度区
- 8)供試生物数： 10頭／濃度区（1 連に付き 1 頭）
- 9)試験温度： 20±1℃
- 10)照明： 16時間明／8時間暗
- 11)被験物質の分析： HPLC法

## 結 果

### 1) 試験液中の被験物質濃度

暴露期間中に測定した試験液の被験物質濃度が、設定値の±20%以内であったため、各影響濃度の算出には設定値を採用した。

### 2) 21 日間の親ミジンコの半数致死濃度 (LC50) :

0.167 mg/L (95%信頼限界 : 0.087~0.357 mg/L)

### 3) 21 日間の 50% 繁殖阻害濃度 (EC50) :

0.138 mg/L (95%信頼限界 : 0.106~0.229 mg/L)

### 4) 21 日間の最大無作用濃度 (NOEC) :

0.030 mg/L

### 5) 21 日間の最小作用濃度 (LOEC) :

0.100 mg/L